

循環器内科・心臓外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	ハイブリッド手術室に導入された low contrast-digital angiography 法の効果検証
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	(所属) 中央放射線部 (職名) 技師長 (氏名) 金田直樹
研究の対象となる方	2017 年 6 月から 2025 年 3 月までに【大動脈弁狭窄症】と診断され、経カテーテル大動脈弁置換術を受けた患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2027 年 3 月 31 日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 本研究は、経カテーテル大動脈弁置換術に希釈造影剤用の撮影法 (low contrast-digital angiography: LC-DA 法)を使用した際の被ばく線量、画質評価、造影剤使用量による検討を行い、通常の撮影法と対比しながら LC-DA 法の効果検証を行うことを目的としています。 〔利用方法〕 電子カルテより被ばく線量、造影剤使用量等のデータを収集し、その中央値を算出し、効果を比較検討します。 〔外部への試料・情報の提供〕 「非該当」
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：「非該当」 情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、被ばく線量、造影剤使用量、血液検査結果、手術所見等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	「非該当」
試料・情報を利用する学外の者	「非該当」
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026 年 12 月 31 日までに窓口での受付、電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報	〔外国の名称〕

の提供	「非該当」
問い合わせ先	愛知医科大学病院 中央放射線部 担当者 : (職名) 主任 (氏名) 大澤充晴 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311 (内線 35411)